

# 平成26年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

## (男) 3 回戦

試合日: 2014/08/04  
開始時刻: 13:20~  
会場: 船橋市総合体育館  
コート: Mコート  
試合順: 第3試合(男) 3 回戦

Team A		Team B												
桜丘	83	73												
(愛知県)		(大阪府)												
	<table border="1"> <tr><td>14</td><td>-</td><td>13</td></tr> <tr><td>19</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>22</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>28</td><td>-</td><td>24</td></tr> </table>	14	-	13	19	-	18	22	-	18	28	-	24	大阪学院大学
14	-	13												
19	-	18												
22	-	18												
28	-	24												

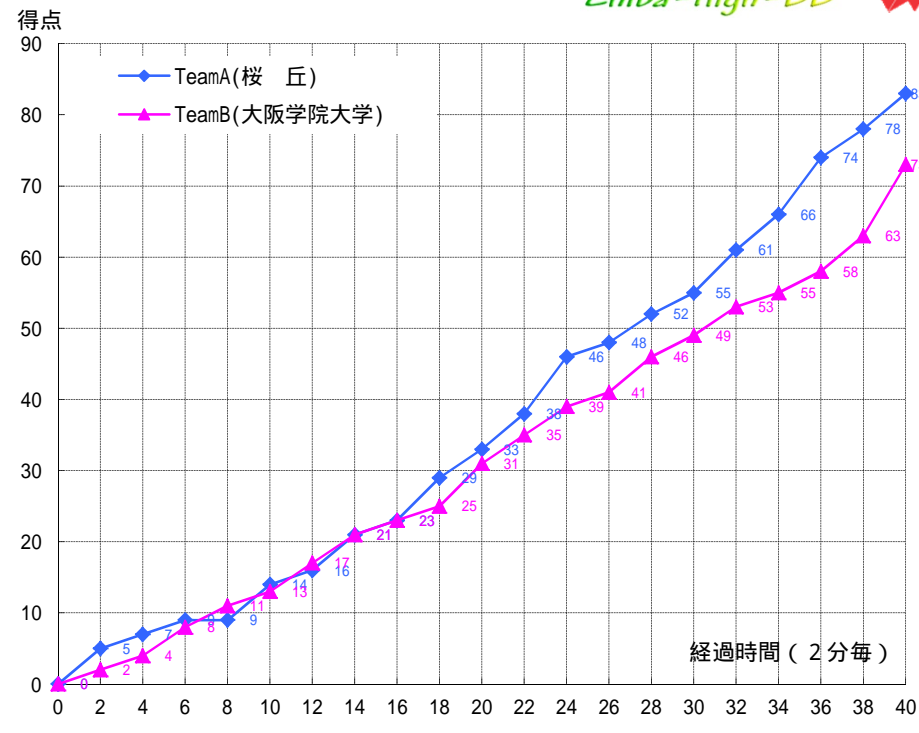
### TeamA(桜丘)

PT	選手名	得点	3P イント			反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成	成	成		off	def	計			
4	井上 一輝	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	佐藤 光貴	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	鈴木 空	29	3	9	2	3	1	2	3	1	0	3
7	鈴木 靖哉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	糸 辰弥	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1
9	高橋 理輝	7	1	2	0	1	1	2	3	14	0	1
10	MBODJ LAMINE	29	0	13	3	2	10	15	25	2	2	3
11	中尾 良平	9	0	4	1	2	6	1	7	2	0	2
12	井上 涼	7	0	3	1	5	0	2	2	0	0	0
13	横山 遼太郎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	内田 匠海	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	高木 稜梧	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:						0	5	7	12			1
合計		83	4	32	7	14	23	29	52	19	2	10

### TeamB(大阪学院大学)

PT	選手名	得点	3P イント			反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成	成	成		off	def	計			
4	吉岡 信友	5	1	1	0	4	2	1	3	4	2	0
5	井福 普太郎	2	0	1	0	1	2	0	2	0	0	0
6	斎藤 直也	2	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1
7	綱井 勇介	30	2	10	4	2	2	3	5	3	2	3
8	尾関 敦弥	2	0	1	0	2	0	3	3	2	0	1
9	木下 誠	19	3	5	0	5	0	1	1	7	1	0
10	川上 凜太郎	8	0	2	4	2	0	1	1	1	1	1
11	上田 健斗	5	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
12	安永 海斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
13	藤田 拓也	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	坂本 和優	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	寺下 直示郎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:						0	4	5	9			3
合計		73	7	22	8	18	10	15	25	17	6	7

TO/CK/SS 千葉県高体連バスケットボール専門部所属高校バスケットボール部



	前半(1-2P)リフト	後半(3-4P)リフト	延1	延2	延3	延4
TeamA	17:35	18:34	38:09	-	-	
TeamB	18:18	-	32:26	34:48	39:44	

### 【戦評】

圧倒的な高さで福岡第一を破った桜丘と、スピードのある展開で第2シードの能代工業を破った大阪学院の対戦。両チームハーフコートマンツーマンでゲーム開始。第1P、互いに隙のないディフェンスを見せ、一進一退の攻防が続く。第2P、桜丘は#6の個人技を中心に加点していくが、大阪学院も#9、#11などアウトサイドシュートの決定力が高い選手が多く、前半は2点差で終了。試合が動いたのは第3P、残り7分で大阪学院はチームファウルが4つとなり、思い切ったディフェンスができなくなる。桜丘はその隙を見逃さず、インサイドの#10にボールを集め、この試合初めて7点まで差が広がる。第4P、追いつきたい大阪学院だが、桜丘の長身センターにゴール下を完全に支配され、残り5分で15点差をつけられる。大阪学院は終盤、#4、#7、#9が次々と3Pを決めて反撃するが、最後まで追いつけず、83対73で桜丘が勝利した。

審判	大倉 守正 / 佐田 幸一 /	戦評	久保田 伸司
----	-----------------	----	--------